

氏名	上原 慎也
授与した学位	博士
専攻分野の名称	医学
学位授与番号	博乙第 4167 号
学位授与の日付	平成18年12月31日
学位授与の要件	博士の学位論文提出者 (学位規則第4条第2項該当)
学位論文題目	A pilot study evaluating the safety and effectiveness of <i>Lactobacillus</i> vaginal suppositories in patients with recurrent urinary tract infection (再発性尿路感染症に対する乳酸菌膣坐剤の安全性および有効性を検証するためのパイロットスタディー)
論文審査委員	教授 小熊 恵二 教授 五味田 裕 助教授 苔口 進

学位論文内容の要旨

膣内細菌叢の乱れは、頻回再発性尿路感染症の原因のひとつと考えられている。近年 probiotics として注目を集めている乳酸菌は、膣内に正常細菌叢を形成することにより病原性細菌の定着を防止するという重要な役割を担っている。我々は乳酸菌を含有した膣坐剤を独自に作製し、再発性尿路感染症に対する再発抑制効果および安全性を検証するための臨床的検討を行った。健康女性から分離した *Lactobacillus crispatus* (3株) において、抗菌作用を有する過酸化水素の産生能を測定し、最も産生能の高い株(GAI98332)を選択し膣坐剤を作製した。尿路感染症を過去1年間に複数回繰り返し、2年以上の臨床経過を有する女性を対象とし、2日に1回、1年間の患者自身による膣内投与を行った。最終的に9人の患者が登録された。膣坐剤投与に関連する副作用は認めなかった。また、投与期間中の再発回数の有意な減少を認めた(投与前: 5.0 ± 1.6 回/年, 投与中: 1.3 ± 1.2 回/年; $P=0.0007$)。本検討により、再発性尿路感染症に対する予防法として、*Lactobacillus crispatus* GAI98332 を用いた乳酸菌膣坐剤の安全性かつ有効性が示唆された。

論文審査結果の要旨

本研究では、まず、健康女性から分離した *Lactobacillus crispatus* (3株) において、抗菌作用を有する過酸化水素の産生能を測定し、最も産生能の高い株 (GAI98332) を選択し膣坐剤を作製した。次いで、これを尿路感染症を繰り返す患者に投与し、その有効性を認めた価値ある業績であると認める。

よって、本研究者は博士(医学)の学位を得る資格があると認める。